16520 こども発達センター運営事業 子算 会計 款 項 一般	緒に日中通し生にあった接いこかする住民からは併用利用 をいるは併用利用を受けるといるとは であるとは であるとしている。	■ 新市建 □ 定住自 □ 主要事 は使わない い、遊びや し方を学び	自立圏構想 事業 小集団で	の体験
極策の展開 16 結婚・子育て環境の整備 戦略事業 81 こども発達センター運営事業 戦略事業 20 障害者福祉の推進 戦略事業 戦略事業 単年度線返 10 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する事務事業の期間 2 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する 単年度線返 1 中央 25 年度 ~ や専門職(理学療法・作業療法・言語療法・臨床心理士等)による指導を受け、子どもの特性 1 中度まで 1 中度は 1	を	■ 対には ・ 対には ・ 主要事 ・ は使わない ・ 、遊びやし ・ し方を学び ・ しからの意見	自立圏構想 事業 小集団で	の体験
本業の展開 20 障害者福祉の推進 戦略事業 20 事務事業の概要 事務事業の期間 ② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する 単年度繰返 ・小学校就学前の在宅の障害や発達の遅れのある子及び保護者が対象。子と保護者が一次 25 年度 ~ 日期間限定複数年度 中度では 中度できるようになっている。 小学校就学前の在宅の障害や発達の遅れのある子及び保護者が対象。子と保護者が一次 中度では 中度では 中度では 中度では 中度では 中度では 中度では 中度では 中度では 中度できるようになっている。 小学校就学前の在宅の障害や発達の遅れのある子ともが指導を受け、子どもの特性では 中度では 中度では 中度では 中度では 中度では 中度では 中度では 中度できるようになっている。 中度では 中度では 中度できるようになっている。 中度では 中度できるようになっている。 中度ででは 中度では 中度できるようになっている。 中度では 中度できるようになっている。 中度ででは 中度では 中度できるようになっている。 中度できるようになっている。 中度でできるようになっている。 中度でできるようになっている。 中度でできるようになっている。 中度できるようになっている。 中度できるようになっている。 中度できるようになっている。 中度できるようになっている。 中度でできるようになっている。 中度できるようには、 中度では 中度できるようになっている。 中度でできるようになっている。 中度できるには、 中度では	、行政用語に 緒に日中通し 生にあった接し こ対する住民 いらは併用利用 にが聞かれてい としみにしてい	□ 主要事は使わない い、遊びや し方を学びこからの意見	業 <mark>小集団で</mark>	の体験
② 事務事業の期間 ② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する ・小学校就学前の在宅の障害や発達の遅れのある子及び保護者が対象。子と保護者が一次 で専門職(理学療法・作業療法・言語療法・臨床心理士等)による指導を受け、子どもの特性 では、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	緒に日中通し生にあった接いこかする住民からは併用利用 をいるは併用利用を受けるといるとは であるとは であるとしている。	ハ、遊びや し方を学び からの意見	小集団で	
② 事務事業の期間 ② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する ・小学校就学前の在宅の障害や発達の遅れのある子及び保護者が対象。子と保護者が一次 で専門職(理学療法・作業療法・言語療法・臨床心理士等)による指導を受け、子どもの特性 では、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	緒に日中通し生にあった接いこかする住民からは併用利用 をいるは併用利用を受けるといるによります。 としみにしているとしないことにいるといるといるといる。	ハ、遊びや し方を学び からの意見	小集団で	
☑ 平成 25 年度~	生にあった接いこかする住民からは併用利用をが聞かれてい	し方を学び からの意見		
□開始年度不詳期間限定複数年度 平成 年度~ 令和 年度まて 事務事業開始の経緯・事務事業の現状 成23年子育て支援課で実施していた「いるかサーク」が終了。障害や遅れのある子どもが指導を受けるが減少。他市の事業所も利用していたが、市外利用の受け入れ枠が少なく、希望しても利用できない子がてきたことから、平成25年4月に市の福祉サービスとて開始。	こ対する住民 いらは併用利用 きが聞かれてい そしみにしてい	からの意見)成長を供	きしてい
期間限定複数年度 平成 年度~ 令和 年度まて ・・事業の実施は障害者(児)支援に実績があり専門職がいる法人ロザリオの聖母会に委託 ・事務事業開始の経緯・事務事業の現状 成23年子育て支援課で実施していた「いるかサーク」が終了。障害や遅れのある子どもが指導を受けるが減少。他市の事業所も利用していたが、市外利用の受け入れ枠が少なく、希望しても利用できない子がてきたことから、平成25年4月に市の福祉サービスとて開始。	いらは併用利用 ちが聞かれてい そしみにしている			
平成 年度~	いらは併用利用 ちが聞かれてい そしみにしている			
事務事業開始の経緯・事務事業の現状 ④事務事業に関する課題・環境の変化 ⑤事務事業に成23年子育て支援課で実施していた「いるかサーク」が終了。障害や遅れのある子どもが指導を受けるが減少。他市の事業所も利用していたが、市外利用の受け入れ枠が少なく、希望しても利用できない子がてきたことから、平成25年4月に市の福祉サービスとて開始。	いらは併用利用 ちが聞かれてい そしみにしている			
成23年子育て支援課で実施していた「いるかサーク」が終了。障害や遅れのある子どもが指導を受けるが減少。他市の事業所も利用していたが、市外利用の受け入れ枠が少なく、希望しても利用できない子がてきたことから、平成25年4月に市の福祉サービスとて開始。	いらは併用利用 ちが聞かれてい そしみにしている		目竿	
が減少。他市の事業所も利用していたが、市外利用 の受け入れ枠が少なく、希望しても利用できない子が てきたことから、平成25年4月に市の福祉サービスと て開始。	楽しみにしている	月をすること		こ落ち着
の受け入れ枠が少なく、希望しても利用できない子が てきたことから、平成25年4月に市の福祉サービスと て開始。				
て開始。	、トの十七一系			
	こくいという声	も聞かれて	いる。	
2)コスト・特定財源の状況 	丰度 30年度	1年度	2年度	3年月
事業費の詳細 (2年度の決算) 単位:千円 単位:千円	(決算)		(決算)	(予算
需用費 1,552 <mark>燃料代(灯油)・電気料 1. 需用費 1. 需用費 1. 需用費 1. 電子面 1. 電子</mark>	097 1,103		1,552	
[2. 亿分复]	703 16,701		17,433	16,61
安武科 17,433 ゼンダー連営・清掃業務 1 1 1 1 3 安武科 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	800		17,433	10,01
	800 18,612	17,866	18,985	16,61
国庫支出金 # 1. 国庫支出金 千円 1. 国庫支出金 千円 1. 国庫支出金 千円				
₩ 古信 				
その他 7,185 事業収入・利用者負担金	580 8,194	7,311	7,185	8,15
5. 一般財源 千円 10,	220 10,418	10,555	11,800	8,46
前年度 曽減理由 業務委託料及び空調用灯油代の増	人×		延べ	
			~	
3)事務事業の手段・目的と対応する指標 	丰度┃30年度	1年度	2年度	3年月
	績) (実績)	(実績)	(実績)	(計画
2年度実績(2年度に行った主な活動)	207	207	220	22
・開設日(月)~(金) ・専門職指導 ・専門職指導	227 229	227	228	22
<mark>●行事 </mark>				
・自己評価の公表 イ 専門職指導日数	70 71	70	69	7
	∓度 30年度 :績) (実績)		2年度 (実績)	3年月 (計画
*	限/ (大限/	(大順)	(大順)	(日)四
できい遅れのある子とその保護者 こども発達センターを希望した子で利用し 人	40 36	43	41	4
意 子ども及び保護者が適切な指導をうけることができる。指	40 00	40	71	
<u></u>				
できゃ遅れのある子とその保護者 利用者アンケートの結果、「よかった」と答 後 できない。 1 1 1 1 1 1 1 1 1	96.0 95.0	95.0	78.6	96.
意 子どもが集団の場でのコミュニケーションや社会性を字べ	70.0	33.0	70.0	30
1) 事務事業優先度評価の結果 成果優先度評価結果 ②コスト削減優先度評価結果 (5) 成果指標の動向				
- 成果向上余地 - ペー・ペー・ コスト比率 - 44 - 44 - 44 - 44 - 44 - 44 - 44 -		100	1.0	
かなり ある程 ほとん とない 下位 中位 上位 1/3 1/3 1/3 42		80.0	0	
1/3 1/3 1/3 40		60.0	0	
施 乗 大きい			<i>→</i>	ーア
		40.0	٥ 🚤	⊢ 1
(表) (4) (4) (5) (4) (4) (4) (5) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4		20.0	0	
果度 6 (4)				
	R2 R3計	—— 0.0 ⊦画		
・1 東 秋 東 光 / 和 - トナ - 京 / ボ		<u>+++</u>	国 #	
5) 事務事業に関する評価 【① 海地地の		□ 実施	凶難	
① 進捗状況一 完了				
① 進捗状況□ 完了☑ 順調□ 概ね順調□ 停滞【コメント】				
① 進捗状況【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)【回りまする「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する「連携を表する<				C.L.
① 進捗状況 □ 完了	丰度 29年度		1年度	
① 進捗状況	丰度 30年度	1年度	2年度	
① 進捗状況	平度 29年度 平度 30年度 3 Δ4	1年度		
① 進捗状況	丰度 30年度	1年度 4 7	2年度 △2	3計画
① 進捗状況	丰度 30年度 3 △4 26.0 △1.0	1年度 4 7 0 0.0	2年度 Δ2 Δ16.4	3計画
① 進捗状況	事度 30年度3 Δ426.0 Δ1.0大維持	1年度 4 7	2年度 △2 △16.4	2年度 3計画 17